



**NEW**  
**新**  
**市長 マニフェスト**

**5S** **プラス** **財政**

安心 Safety   自然 Soft   笑顔 Smile   節約 Save   持続 Sustainability

■とうま よしこ プロフィール

〈略歴〉1949年／福岡県大牟田市生まれ、慶応義塾大学法学部卒業。1979年／29歳で所沢市議会議員に当選。(連続3期) 1991年／所沢市長選挙に出馬、惜敗。1999年／埼玉県議会議員当選。(連続3期) 2007年／所沢市長選挙に出馬、当選。  
 〈主な役職〉所沢市健康づくり市民会議議長／所沢市防犯協会会長／所沢市文化振興事業団理事長／所沢商工会議所顧問／埼玉西武ライオンズ所沢市民後援会会長

とうま  
**当麻**  
ま  
**よし子**  
所沢市長

未来へつなぐ   
あったか市政

**いつも市民とともに、所沢市にとって最善の選択をする**

**市** 民のみなさまには、それぞれ家族や仕事、そして日々の生活があります。社会のつながりが希薄になっている現代は、ストレスも多く、様々な悩みや将来不安などがありますが、私は、市民が立場の違いを超えて、互いを尊重しながら、所沢市の将来に思いを寄せていけば、必ず道は開けてくると確信しています。これからも現実から目をそむけることなく、課題へ挑戦していきたいと思ひます。



5S

安心  
Safety自然  
Soft笑顔  
Smile節約  
Save持続  
Sustainability

+

財政

安心

## 安心・生き生きあったか市政

Safety

- 1 地域の身近な仕事を通じた社会貢献の場をつくりま 4年で実行  
→コミュニティビジネス（社会貢献ビジネス）等を支援し、空き店舗の活用など新規開業のサポート制度を創設します。
- 2 若者・高齢者・女性がいきいきと働く場を確保しま 2年で実行  
→資格取得のための職業訓練の充実と仕事確保策に取り組みます。
- 3 障害者が地域で自立した生活を実現できるよう支援 4年で実行  
→グループホームの設置を推進し、共生型グループホームの新設に取り組みます。
- 4 孤独死ゼロをめざすとともに、市民後見人制度の普及 すぐに実行  
→見守りネットワークの参加事業者をさらに充実して、孤独死ゼロをめざします。  
また、成年後見制度への理解を促し、市民後見人の普及促進に取り組みます。
- 5 医療機関と連携した安心ネットワークを構築しま 2年で実行  
→医師会と協力した地域ケア会議の開催など、保健福祉医療の安心ネットワークを構築します。
- 6 認知症や病気に対応できる24時間安心のまちをめ すぐに実行  
→医療情報サービスや地域包括支援センターを充実して、安心して暮らせるまちをつくりま。
- 7 “地域のことは地域で決める” 住民主体の地域 すぐに実行  
→まちづくりセンターを核に地域協議会を立ち上げ、地域の情報や課題を共有しながら、住民の主体的な地域づくりを支援  
します。平成24年度には並木まちづくりセンターや小手指分館に市民サービスコーナーを開設します。
- 8 子育て世代と高齢者が安心して暮らせる住宅 4年で実行  
→住替え可能住宅、ケア付き住宅、子育て支援住宅の整備に取り組みます。
- 9 地震防災戦略プランを策定して地震に強い街 2年で実行  
→減災目標を設定した“所沢市地震防災戦略”を策定し、戦略的・計画的に減災対策に取り組みま。  
また、耐震相談・改修補助制度等を充実し、住宅の耐震化率をアップします。
- 10 放射線量や放射性物質の検査を継続的に実施 すぐに実行  
し、市民の不安解消に努めます
- 11 保健所政令市へ移行するための準備を始 4年で実行  
めま  
→健康・医療・公衆衛生など、命につながる危機管理体制を強化するため、保健所政令市への移行を検討しま。

自然

## 人と自然が調和するまち

Soft

- 1 地球にやさしい自然エネルギー（太陽光・風力・地熱・ 2年で実行  
バイオマス等）を積極的に導入しま  
→補助制度の充実を図るとともに、環境分野での企業との共同・連携事業の検討を進めま。
- 2 学校や公共施設の省エネを推進しま すぐに実行  
→学校へのLED蛍光灯の導入や公共施設への太陽光発電、緑のカーテンの普及促進をはかりま。
- 3 “ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例” を活用 4年で実行  
し、自然と親しむ地域環境づくりを進めま  
→里山や水辺を利用した“ほっと空間”づくりや、市民参加でみどりの積極的な活用に努めま。
- 4 家庭の庭を市民の憩いの場にする“ガーデンシ 2年で実行  
ティとところざわ計画（仮称）”の策定と推  
進  
→家庭の庭自慢を募集してマップ化し、地域のみどりを活用した“ほっと空間”づくりを推進しま。

**5 個人市民税1%を財源に、かけがえのないみどりを守り育てていきます**

→みどりの保全や市街地の緑化にも積極的に取り組み、みどりと景観に配慮したまちづくりを進めます。

2年で実行

**6 身近な公園の整備を計画的に進めます**

→市民憩いの場、親子で遊べる場として、身近な公園づくりに計画的に取り組み、毎年度1ヵ所の整備をめざします。

すぐに実行

**7 市民参加でごみ減量リサイクルをさらに進めます**

→市民一人あたり1日たまご一個分(60g)の減量を目標とします。

2年で実行

笑顔

## あふれる笑顔を未来へつなぐ

Smile

**1 こども支援センターを整備します**

→子育て支援や発達支援機能をそなえた「こども支援センター」を整備します。

4年で実行

**2 安心して暮らすための小児医療環境の充実を進めます**

→小児医療の充実や訪問医療体制の確立により、地域で安心して暮らせる医療環境を整備します。

2年で実行

**3 保育環境を整え、待機児童の解消に継続して取り組みます**

→民間委託により多様な形態による保育(駅前、休日、長時間など)の充実をはかるとともに、公私格差の是正に取り組みます。

4年で実行

**4 中高一貫校や公立小中高の連携教育を進めます**

→私学のノウハウを活かした中高一貫校や、公立小中高の連携教育をすすめ“学園都市”所沢をめざします。

4年で実行

**5 基礎学力向上に地域ぐるみで取り組みます**

→学校と連携して、地域で読み聞かせや補講(まちの寺子屋)の体制づくりを進めます。

すぐに実行

**6 地域ではぐくむ学校運営を行うため、学校評議員制度の充実をはかります**

すぐに実行

**7 暑さ対策のため、小中学校へ冷房を設置します**

2年で実行

**8 子どもが地域で本に親しめる機会を充実します**

→小中学校図書館の蔵書数を増やすとともに、小学校に司書補助員を配置します。

4年で実行

**9 学校給食の自校化を進めます**

→温かくて、作った人の顔の見える給食を子どもたちに提供し、食でつなぐ地域コミュニティを進めます。

2年で実行

**10 ふるさと研究資料収蔵庫の整備に取り組みます**

→歴史的価値の高い資料を保存・活用し、ふるさと所沢への愛着を高めます。

4年で実行

**11 スポーツや音楽を通じて市民がいきいきと活動できるまちづくりを進めます**

→市民が多様なスポーツに親しめるよう、多目的に利用できる人工芝運動場を整備します。  
また、市民音楽祭の開催、合唱や吹奏楽など文化活動の発信を支援します。

4年で実行

**12 子どもから高齢者まで、みんなで利用できる温水プールをつくります**

→市民の健康増進をはかるため、年間を通して利用できる温水プールの整備に着手します。

4年で実行

**13 NPO活動を支援し、地域力・市民力を高めます**

→NPO基金を創設し、NPO認証事務を市民活動支援センターで実施します。

2年で実行

節約

## 市民参加で市役所改革

Save

**1 シンクタンク「ところざわ未来研究所」を立ち上げ、次代につなぐまちの姿を研究します**

→市内・近隣の研究者や文化人と協働して、次代につなげる“まちの姿”を研究します。

4年で実行

**2 市役所で行っている状況をわかりやすく整理し、市民との情報共有を進めます**

→市の事務事業の進捗状況や財政状況などをわかりやすく提供し、市民との情報共有をはかります。

すぐに実行

**3 行政活動に民間の提案が活かせる仕組みを導入します**

→民間(NPOや企業など)が公共活動への参画を提案できる仕組みづくりに取り組みます。

2年で実行

**4 若者を臨時職員に採用し雇用を促進します**

→若者に行政実務の経験を積みさせ正職員への道筋を開くとともに、職員定数を見直します。

2年で実行

- 5 平成23年4月にスタートした第5次総合計画に即した組織機構の見直しを行います 2年で実行  
→ (仮称) 経済雇用推進部、上下水道部、総合窓口の新設を進めます。
- 6 最小の経費で最大の効果を生むように継続して行政改革に取り組みます すぐに実行  
→ より必要性の高い課題に予算を積極的に充当できるよう、第5次行政改革大綱を策定し、民間委託化計画の推進と今以上のサービス提供に努めます。
- 7 迅速な行政判断を進めるために副市長を2人配置し、人材を民間から登用します すぐに実行
- 8 厳しい財政状況を勘案して市長給与を20%削減し、退職金をゼロにします 4年で実行

持続

## 持続発展可能な自立都市

Sustainability

- 1 市民参加で策定した自治基本条例を着実に実行します 2年で実行  
→ 市民との協働により、“市民参加条例”と“住民投票条例”の制定を進めます。
- 2 今後の社会動向を踏まえた長期的な視点で財政の健全性を維持します 2年で実行  
→ 財政健全化条例を制定し、次世代に重い負担を背負わせないまちづくりを進めます。
- 3 所沢の玄関にふさわしい所沢駅周辺の“顔づくり”に取り組みます 4年で実行  
→ 所沢駅西口再開発のキックオフ、西武車両工場跡の戦略的活用を官民協働で進めます。
- 4 所沢産野菜のブランド化を進め、多くの人にとろざわを知ってもらい消費の拡大に努めます すぐに実行  
→ お茶、さといも、ホウレン草のブランド化と地元消費の拡大を図り、都市農業を積極的にアピールします。
- 5 地産地消の拠点としての「大型直売所」の整備と、“農”の楽しさを市民参加で実践するための「市民農園」の整備に取り組みます 2年で実行
- 6 通勤者や地元で暮らす人の利便性を高めるため西所沢駅に自由通路を開設します 4年で実行  
→ 駅をまちの拠点として利用しやすい機能を高めます。
- 7 産学連携を積極的に進め、起業支援や企業誘致がしやすい環境を整備します 2年で実行  
→ 起業を促し企業誘致する仕組みづくりに取り組みます。
- 8 まちの発展と緑の確保のため市街化調整区域の計画的利用に取り組みます 4年で実行  
→ 民間活力を導入して商業施設などを誘致し、雇用と経済の活性化をはかります。(候補地：富岡、柳瀬、松井)
- 9 民間との協働により公有地の有効利用をはかります 4年で実行  
→ 定期借地権等を活用し、所沢駅東口(公有地)におけるコミュニティ施設整備事業に着手します。(候補地：くすのき台)。
- 10 公共交通や新たな交通手段の検討など総合的交通ネットワークの構築を進めます 2年で実行  
→ 高齢社会に対応した交通ネットワークの検討に着手するとともに、地下鉄12号線の東所沢までの延伸に向け、関係自治体と連携し取り組みます。
- 11 高齢者や障害者などすべての市民が安全に楽しく歩ける道づくりを整備します 4年で実行  
→ 高齢者や子どもをはじめ市民が安心して歩ける道づくりのため、歩道の確保や街路樹の整備に努めます。

財政

## 4年間で約50億円の財政改革に取り組みます

- 1 市役所改革を着実に実施します
  - 職員150人を削減することにより13億円を節約。
  - 政策評価や事務事業の見直しにより約18億円を節約。
  - 市長給与・退職金の削減で約3000万円を節約。
  - 入札制度改革(総合評価方式の導入など)やその他の公共調達の見直しで約10億円を削減。
  - 民間の活力を生かし事業費を削減することで約5億円を節約。
  - 未利用地の活用や売却、民間協働での取り組みなどで、4億円を削減。



議会にて答弁する当麻市長